

# Sain

健康な住まいと  
暮らしのサイン

2023 Spring

76

思いひらく春に



はじめのSAiN

# 花鳥風月

自然の風物も愛でる楽しみ

月は、地球からいちばん近くにある星で、人類が初めて訪れた星でもあります。地球のまわりを回りながら太陽の光を受けて輝く月は、太陽と地球と月の位置関係によって満ち欠けして見え、新月、三日月、満月と姿を変えて私たちを楽しませつつ、さまざまな想像力をかき立ててきました。稲垣足穂はお月様を主人公にした玉手箱のような物語集『一千一秒物語』を書いて、

トム・ウェイツは月をグレイプフルーツに例えた詞を美しいメロディで歌いました。月にまつわるお気に入りには、百人百様。今年の8月は2日と31日の2回満月となつて、31日は一年でいちばん大きく見える満月とひと月に2回目の満月がかさなる「スーパーブルームーン」になるそうです。月がきれいな夜は、できればちょっと遠回りして帰りたいですね。

# SAiN 2023 Spring 76

サイン二〇二三年  
春号をお届けいたします

春風とともに去りゆく人  
春風とともにめぐり会う人  
新しい四季がまた始まります

変えなければいけないこと  
変わらずに守りたいこと  
春の花のようにいろいろ  
ではあります  
どうか心をひらいて  
サインをお楽しみいただければ  
と思います

SAiN 76号 目次

01 はじめのSAiN

03 「SAiN特集」  
OPEN HEART

心ひらける暮らし 沖縄篇

05 空気がうまい家 全国体感録

家族色で彩ってゆく  
無垢の家

09 施主 渋谷浩一郎様 エッセイ  
四季めぐる空気がうまい家

11 おもやの食卓

春の旬食材 アボカド

14 SAiN エッセイ

共感の先にある心の豊かさ

15 住まいと健康のいい関係

「無添加」というだけでは  
「健康住宅」と言えない？

16 カイケンブランド

健康自然建材

17 こだわりプレゼント  
編集ほのぼの後記

## COVER STORY



「時を超える価値のある暮らし」というテーマでお届けしている『SAiN』。2023年春号の表紙は、春の旬食材「アボカド」と、アンティークの絵皿とマグカップです。

絵皿とマグカップは、どちらも1940～60年代に作られたもので、ハンガリーの蚤の市で見つけたものだそうです。陶器の絵皿は手描きで青い花が描かれており、裏には壁掛用の紐を通す穴が空いています。

マグカップは白い花がモダンにデザインされていて、思わず手にしたくなるようなセンスの良さを感じます。

流行に左右されない「いいもの」を取り入れて、この春の暮らしも心ゆたかに楽しんでいただければと思います。

『SAiN』のお申し込みなどはWEBサイトで。  
<https://www.e-kaiken.com/sain/>  
©KAIKEN CORPORATION

# OPEN HEART



**縁** とは不思議なもので、たまたま奥様のお知り合いの整体師さんが、ご自身のサロンを音響熟成木材と幻の漆喰でリフォームされていらっしゃいました(次号以降でご紹介予定)。S様ご夫妻はその体験談を直接お聞きになって、居心地の良さも肌で感じていらっしゃったのです。

「とにかく、音響熟成木材を使いたいという思いがありました(ご主人)。「他とは比べ物にならないかったんです。唯一無二と感じていました(奥様)」。

なかなかこの自然素材を使ってくれるところと出会えなかったのですが、ふと思いついて、整体師さんにリフォームを施工されたラムハウジングさんを紹介していただき、それからとんとん拍子で家づくりが進んでいきました。

鹿児島島の湧水モデルハウスを見学され、「これか!と思いました。思い描いていた家がそこにあったんです(ご主人)」。さつま工場内のモデルハウスにも体感宿泊され、帰りの道中で「あれくださいって、すぐに決まりました(奥様)」。



(写真左から)好きなビートルズのレコードをここで聴くのが至福の時間。眺めのいいいちばんのお気に入りの場所は、晴れた日の景色がとくに最高です。LDKは窓も大きくて開放感いっぱい。無垢・無塗装のフローリングも、木がとてもいきいきしている感じが。木の香りや気持ちいい空気が居心地が良すぎるせいか、ここにいられた方は、長い時間ゆっくりくつろぎになるそうです。

## いろいろな願いがかなって、ほんとに幸せです。

### 設

計のご要望は3人で生活すること・ロフト・引戸・トイレ2つで、他は全てお任せ。

奥様が「任せて大正解でした」といわれる住まいが生まれました。

「睡眠の質が良くなり仕事の質も良くなる、英気を養える空間です。生活リズムも変わり、家に早く帰りたくなりました。この家で心身共に健康的です(ご主人)」。

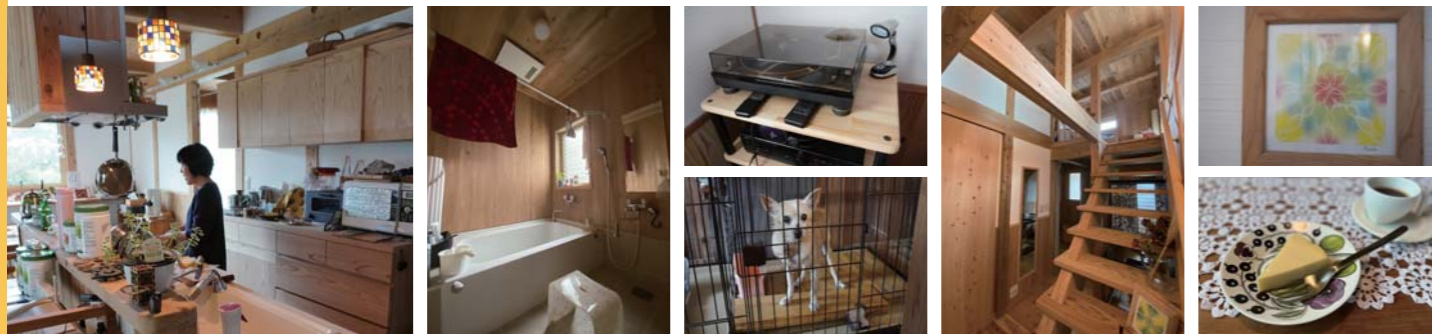
「呼吸もすこい楽ですし、一年を通して外との温度差があまりなく、体がすこい楽で。寝るのも楽しいし、お風呂も楽しいし、テンテン(愛犬)のアトピーも治って臭いもしなくなつて、一石二鳥も三鳥も。いろんな願いがかなって、ほんとに幸せです(奥様)」。

大学教授のご主人の定年後に、レコードを整理したり、お二人で庭の手入れをしたりと、暮らしの楽しみはこれからも広がります。

ご縁やタイミングに恵まれ、大満足の住まいと暮らしを実現されたS様ご夫妻。ご主人から量子物理学の粒子や波動の見えない力などのお話も聞かされて、あらためて自然の奥深さを感じました。

S様ご夫妻、ありがとうございます。

SAIN WEB版では、ここではお届けるできなかった内容など、さらに深掘りしてご紹介します。こちらもお楽しみに。



(写真左から)キッチンに立つのもやる気がわいて楽しくなれたそうです。音響熟成木材を使ったお風呂は、一年以上経っても木がとてきれい。ご主人のレコードコレクションはかなりのもので、どう並べるか楽しく思案中。愛犬のテンテンのアトピーもよくなって、すっかり元気に。階段上の「憧れだったロフト」は、理想部屋にされる予定。奥様のパステルアートと十八番の手作りチーズケーキ。

## こころひらける暮らし 沖縄県名護市 S様



見学された鹿児島県の湧水モデルハウスを気に入られ、デザインの参考に。

自然の命が生きている素材の家でお暮らしだからでしょうか、空気がうまい家にお住まいの方々に会いすると、心を開いていろいろな物事や考えを受け入れ、お互いを尊重して共存していこうという「OPEN HEART」なみなさんが多いように感じられます。とくに自然素材をひとつの生命体のように扱い、対話しながら暮らされている方々のお住まいは、素材がとても美しいのです。

そんなみなさま方をご紹介したくて、沖縄に呼んでお話を聞いてきました。今回から数回にわたりお届けします。



毎晩軒下に戻ってくる小鳥。木の香りとお気に入りの品がお出迎え。

**沖** 縄県名護市に2022年1月に誕生した空気うまい家にお住まいのS様ご夫妻。お子様は独立されて県外で暮らされていて、今後ご主人のお父様と3人暮らしのご予定です。

お父様との同居を機に家を持つことにされ、様々な検討の結果、それまでお住まいの借家を買取り、リフォームして持ち家にされる予定でした。しかし諸事情で買取りができなくなり、最終的に家主さんが所有する土地を買い、戸建てを建てることになりました。

以前のお住まいはコンクリートで湿気がひどく冬は冷えるので、ご夫妻には自然素材を使いたいという強い思いがあったそうです。

私たちの空気がうまい暮らし



Enjoy More Story

◀「私たちの空気がうまい暮らし」では、空気がうまい家にお住まいの方々のそれぞれの暮らしをご紹介します。S様のお話もまた別のアプローチでお届けいたしますので、こちらもどうぞご覧ください。



美しい白壁に設けられた窓がデザインのアクセントになっている外観。瓦屋根の付いた玄関がとてもチャームで、素敵です（写真上）。庭に面した建物の裏側は、壁が切り取られた2階のバルコニーと窓に映り込む景色が印象的（写真下右）。木製のウッドデッキはリビング空間と庭をつないで、開放感のある暮らしを演出してくれます（写真下左）。



無垢の木のすがすがしい香りが広がる玄関は、入って右手のアーチ壁（R下がり壁）の向こうに土間つづきのシューズクロークが設けられています（写真右から2点）。N様邸の間取りプランの中心になったパントリーもアーチ壁で、玄関方向とLDK方向の両方へ通り抜けられる便利な動線になっています（写真左から2点）。

Innocent Home Created with Family Colors

# 家族色で 彩ってゆく 無垢の家

空気がうまい家 全国体感録

音響熟成木材・幻の漆喰・清活量を使用した  
家族にやさしい「空気がうまい家」。  
全国に広がるその魅力をご紹介します。



Innocent Home  
Created with  
Family Colors

HYUGA MIAZAKI

宮崎県 N様のお住まい  
自然素材を使って  
ご家族4人の願いをかたちにした  
2階建て4LDKのN様邸。  
宮崎の青空に美しい白壁が映える、  
無垢の自然を身近に感じながら  
家族の暮らしで日々を彩ってゆく  
心地いいお住まいです。



(写真右から) 照明器具のセレクトのひとつひとつにもN様の暮らしのセンスが感じられます。階段も「うづくり」加工の無垢材。手すりも設けられていて安心です。階段の踊り場をいかしてベンチが設けられたフリースペース。みなさまならどうお使いになりますか？ 自然素材の「絵になる」廊下も、美しい経年変化が楽しみです。

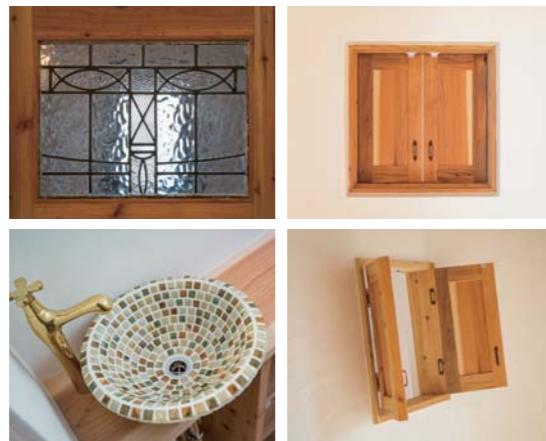


自然の命が生きた美しい素材と吹き抜け空間デザインの相乗効果で、この上ない心地よさに満ちたLDK。ウッドデッキで庭とつながり、開放感もたっぷりです(写真右/上)。



住まいの本質は、お住まいになれる方の「暮らしのあり方」だと思います。気持ちのいい空気に満たされ、時とともに美しい自然素材の経年変化が楽しめるN様邸は、素敵な「暮らしの器」。

ご家族の日々の暮らしで、鮮やかな色や模様が描かれていくのでしょうか。



「北欧の賢人」といわれたフィンランドの建築家で家具デザイナーでもあったアルヴァ・アアルトさんは、「建築における唯一の正しい目標は、『自然に建てる』ということだ。やりすぎてはいけない。余分なものはすべて時間とともに醜くなる」という言葉を残しています。

自然に建てること、やりすぎないこととは、住まいの本質を極めていくこと。

のスムーズな動線が実現されています。

また、アーチ壁(R下がり壁)や木視率(住空間の中で木が見える割合)など、N様と工務店さんが一緒に現場で雰囲気を確認しながらデザインを検討されたそうで、N様ご家族の思いに寄り添った住まいが生み出されています。



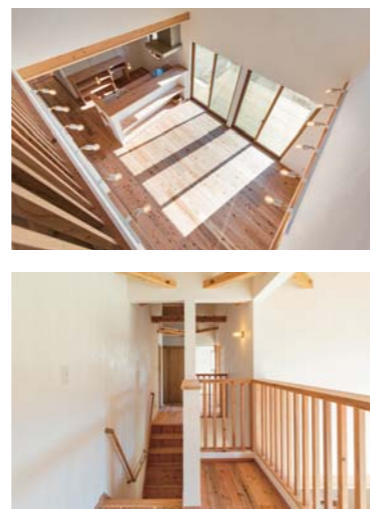
「住む人の心を離れ住居なし」

法隆寺の解体修理などの棟梁を務めたことで名高く、「最後の宮大工」といわれた西岡常一さんの言葉です。

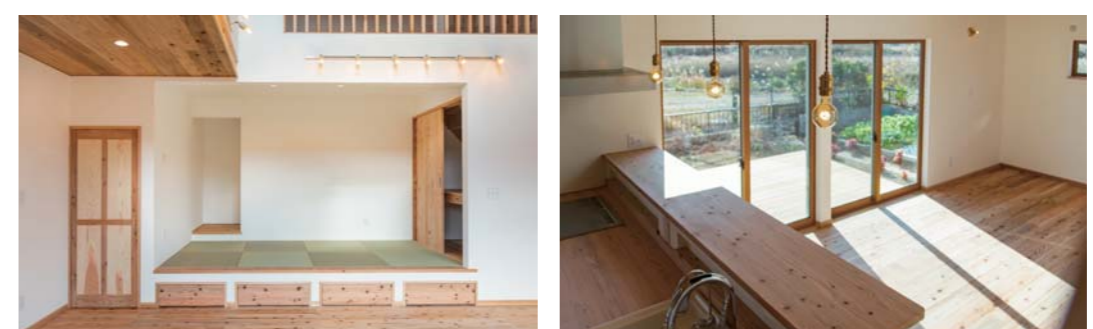
N様邸の家づくりでは、ご希望だった「パントリーを中心にまわられる動線」を考慮した配置プランがまとめられ、玄関・2階への階段・水まわり・LDKへ

## Innocent Home Created with Family Colors

### ご家族に寄り添ってデザインされた自然素材の暮らしの器



2階から眺める吹き抜けの空間。無垢・無塗装のフローリングがきれいです(写真上)。2階居室も自然素材が気持ちのいい空気を生み出し、心も体もくつろげます(写真左)。



モダンな床の間、押入や小上がりの段差を利用した収納など、工夫がこらされた畳スペース(写真左上)。無垢材の対面型キッチンからはウッドデッキや庭が眺められ、収納も充実(写真右上/下右)。こどもたちが喜びそうなアーチ壁の空間(写真下左)。



# 「無い」からこそ 得られる「豊かさ」

Less  
is  
More

施主様からの特別寄稿  
四季めぐる  
空気がうまい家  
文●渋谷浩一郎様

京都府宇治市で空気が  
うまい家にお住まいの渋谷様ご家族。  
四季めぐるその暮らしを、  
施主様ならではの  
エッセイにてお届けいたします。



石庭に憧れて、渋谷邸の庭に敷かれた砂利。

二月の下旬だというのに気温が十度を超え、汗ばむほどの陽気だったかと思うと、今朝は、逆戻り。京都では雪が散らついています。まさに三寒四温という言葉通りに、時が流れています。

もちろん、寒い日には我が家でも暖房を入れるのですが、今年は、どうしても光熱費のことを気にしながら暖房機器のスイッチを入れる冬となりました。

「光熱費を気にしなくても良い暖房器具があればいいのに」

そう思いながら、「薪ストーブ」のことを考えていました。でも、結局何も行動しないまま、今年度の冬を終えようとしています。

そんな時にふと友人と京都の龍安寺の「石庭」に行った時のことを思い出し、「薪ストーブは欲しいけれども、無いなら無いでもいいかなあ」なんて思えたのです。

なぜ、こんな風に思えるようになったのでしょうか。

## 石庭って自然を大事にしてないのでは？

龍安寺の石庭は、枯山水の庭として知られ、世界遺産にも登録されていますので、一度は、写真などで見たことがある人が多いでしょう。

ところが、改めて石庭を見ると、  
・草一本、落ち葉一枚すら存在することが許されない。  
・年中同じ風景で季節を感じることができない。

こんな風感じます。  
つまり、徹底的に自然を排除して、人工的に石や岩が配置された庭ということになります。

ですから、「自然を大切にしよう」と言う風潮が強い現代社会で「やっぱり石庭は素晴らしいなあ」などと言うのは、どうも矛盾しているようにも感じるのは私だけでしょうか。

その一方で、「ガーデニングが好き」という方は、それぞれの季節に応じて咲く花を見事にコーディネートして、自然豊かな季節感溢れる庭にすることを楽しんでいらっしゃいます。このガーデニングスタイルの方が、「どう考えても自然豊かではないか？」なんて思うのです。

でも、なぜか私は、「石庭」にも憧れの様なものを感じるのです。なぜ、こんな感覚が自然と備わっているのでしょうか。

## 何も無いから見えないものが見える

龍安寺の石庭には、自然そのものがあります。けれども、自由に様々なものを想像させてくれます。これまで、たくさんの子どもの達の石庭に対するイメージを聞いてきました。が、とても面白いものです。

- ・荒々しい川を鯉が泳いでいる。
- ・冒険しながらいろいろな山登りをしている。
- ・惑星が表現されている。

・たくさん滝が流れている。  
どれも正解なんて分からないけれども、石庭を見る人が自然と風景を想像することができるからこそ、素晴らしいものなのでしょう。それぞれの人が存分に想像するには、ものがあってはいけない。だから、雑草一本も生えることが許されないのだと思います。



龍安寺の石庭を眺めて、何を想われますか？

もし、この石庭に様々なものがあり、見事な風景が作られていたのなら、先に紹介したような様々なイメージは湧いて来ないと思うのです。

## 落語が面白いのも何も無いから

こんなことを考えると、落語が現代でも愛されている理由が分かるような気がします。

演劇や映画と比べると落語の舞台のセットは極めてシンプルです。お座布団に扇子や手拭いがあるだけです。それでも、落語を聞いた私たちは、話をもとに様々な風景を想像して、思わず笑ってしまうものです。

落語家の立川志の輔さんは、落語（寄席）についてこう言われていました。

「何もないところにわざわざお金を払って、脚をお運びいただき、その上、お客様自身が、想像をして笑うのですから、奇妙なものです。皆様、ご苦勞様です。」

例え、よく知っている話であっても、聴く度に違った風景が見えるのも面白さの醍醐味です。

## 長男が家を離れることに…

つい先日まで、おもちゃで遊んでいた長男が、早いものでこの春、高校を卒業し、進学のために家を離れることになりました。部屋を整理しながら、本や衣類などを処分しました。それなりに荷物があった部屋はガランとして何もない状態になりましたが、意外と清々しいものです。

思い出のものや写真なんかも少ないですが、私の頭の中には友達と一緒に床掃除をしたり、筋トレをしたりしている風景がしっかりと残っています。それでもいいかなあ…なんて思っています。



子どもたちが、心ときめくものを見つけられますように。

つつい私たちは、「〇〇がある方が便利」なんて思いがちですが、石庭や落語など古くからある日本の文化は、「無いものの良さ」を教えてくれているように思います。毎日一緒に暮らす家族が一人減るといっては、寂しいものですが、「楽しく暮らしているだろう」なんて想像する楽しみが一つ増えるのです。

そう言えば、以前から石庭に憧れていたのに、庭の土をちまちまと削り、防草シートを敷いて、砂利を秋に敷きました。それでも、端の方から雑草がたくましく生えて来ています。徹底して自然を排除する難しさも改めて感じると同時に「何も無いから豊かさが生まれる」という教えを豊かな時代だからこそ、見直す必要があるように思うのです。



See you next time!



◀こちらでも渋谷さんの自然にまつわるコラムがお読みいただけます [カイケン 自然発信基地] で検索

季節を味わう

おもやの

食卓

なんでもいつでも揃う  
いまこの時代に、  
あらためて「旬」のものを  
見直してみたいと思います。  
旬のものは、体にいいし、  
なんととっても、  
みんなでおいしく  
いただけますから。



春の旬食材 アボカド

「森のバター」と呼ばれるほど、クリーミーで濃厚な味わいが特徴のアボカド。サラダに使うことが多いが、野菜のイメージが強いかと思いますが、れっきとした「果物」です。体内の余分な塩分を排出するカリウムのほか、葉酸・ビタミン群・食物繊維・ミネラルを含み、森のバターといわれる由縁の豊富な脂肪分は、体内でコレステロールにならない不飽和脂肪酸（オレイン酸）が主体。

ヘルシーで栄養価が高いアボカドは、健康志向にマッチする食材として注目されていて、世界のアボカド輸入額はこの10年で4倍以上にもなっているそうで、メキシコが世界最大の生産国です。意外にもアボカドには40種以上の品種があって、日本で多く食べられているのは、皮が厚く追熟を必要とするため輸出に適している「ハス種」という品種です。



春スイーツで味わう  
森の恵みの有り難さ

アボカドはほぼ一年中出回っていますが、3〜6月頃により質の良いものが多く入ってきます。

定番のサラダや、ペースト状のディップにした「ワカモレ」などにしても美味しいですが、今回はアボカドを使ったスイーツをご紹介します。

お砂糖を使わず、バナナ、ダークチョコレート、ココア、はちみつを使ったムースにさせていただきます。世界的な需要の高まりが、環境へ



の影響を懸念されてもいるアボカド栽培。美味しいものの「有り難さ」も味わいながら、生産する人や土地のことをあらためて考えるきっかけにしたいだけだと思います。

料理 柴田 佳世子

福岡県福岡市生まれ。京都女子大学短期学部家政食管理卒業後、同大学の家政学部食物栄養科学研究室勤務。福岡市のフードプロデュース会社を経て、2005年に独立。レシピ作成、フードコーディネート、料理教室、イベント、レストランなどへのメニュー提案、食育、講演活動など、食と料理の様々な分野で幅広く活動中。

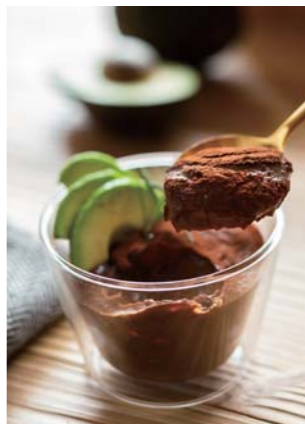




クリーミーで濃厚なアボカドの味わいをダークチョコレートとココアで引き立てた、ちょっとめずらしいヘルシーな春のスイーツです。

想像力を創造力で楽しむ春

「アボガド」ではなく「アボカド」で、「野菜」ではなく「果物」で、和名では「鱈梨(ワニナシ)」ともいわれる、アボカド。中南米が原産で、約700年も前から食べられていたそうです。日本に入ってきたのは、およそ100年前。今では「トロの味がする」と言って、スライスしてお刺身のようにわさび醤油でいただくのも当たり前ですが、最初に思いついたのは、どこのだなたなのでしょうか。感謝ですね。自然の恵みをより美味しく食べるための工夫は、私たちの創造力の原点かもしれません。暮らしを楽しむ、クリエイティブな春を。



アボカドのチョコレートムース  
レシピはウェブでご紹介しています



<https://e-kaiken.com/sain/omoya/>

## SAIN ESSAY

### 共感の先にある心の豊かさ

「類は友を呼ぶ」という言葉があります。由来は紀元前の中国にさかのぼり、周王朝時代、易経という占いの書に記された言葉が語源といわれているそうです。日本へは江戸時代に伝わり、その当時は「類は友を呼ぶ」の前身として「類を以て友を引く」、「類を以て友とす」という言葉が使われていて、今の形になったのは明治時代といわれています。

共感やリスペクトをきっかけに、繋がりが生まれ、そしてご縁が広がっていくのは、いつの時代も同じということですね。別々のステージに立っていても、全く違うジャンルで歩みを進めていても、価値観や属性が似ていれば、不思議とチャンネルが重なり、リンクしていきます。

目的は違えど足の向かう先は同じ... それぞれが発信者であり、お互いを応援しながら、サポートし合えるような関係性はとても素敵なことだと感じます。

今の世の中を生きていく中で、その思考に寄り添った動きは益々大きくなっていく気がいたします。

何か一つの方向へ向かって色々なジャンルが関わり合い、それぞれの持ち味を活かしながら、何かを創造していく。確かに歴史を振り返ってみると、昔は部

品ごとのいわゆる手仕事を極めた専門店のお店がたくさん軒を連ね、専門職同士がコラボをしながら、一つの商品を生み出していた時代がありました。



浦上 日章  
Text by  
Urakami Nissho

経済が発展し、そのおかげで便利な世の中で過ごしていること、もちろんこれからその恩恵にあずかることをしっかりと受け止めて理解したうえで、過去に習い、未だに何が残せるのかを、今の時代だからこそできるアクションで見極めながら、そこで引き合う「縁」を大切に紡いでいきたいと思っています。

私たち自身が前向きな姿勢で人生と向き合い、視野を広げ、新しいコンテンツにどんどんチャレンジし、日々を楽しくワクワクして過ごすこと。

それが最高のルートとして、心の豊かさが生まれる、良い出会いの方向へ導いてくれるような気がいたします。





# 無添加 というだけでは 健康住宅 と言えない？

**無**添加という言葉聞いて皆様はどのよう  
に感じられますか？「添加物が入って  
ないので体に良く健康になれる」と感じら  
れる方がほとんどではないでしょうか。実  
際、添加物が多く使われているより、出来  
る限り入っていないほうが体に良いことは  
間違いないでしょう。しかし「無添加」と  
いう表示は、添加物が入っていても入ら  
なければ、無添加として商品が出せるとい  
う曖昧な定義のもとにあります。

**例** えば、合成着色料を使用していない商  
品であれば、防腐剤が入っていてもその商  
品は無添加商品といえるのです。食品はも  
ちろん、石鹸やシャンプー、化粧品など私  
たちが口に入れるものから肌に直接ふれる  
ものに「無添加」という言葉を目にしてい  
ることでしょう。その中で「全成分無添  
加」という商品、ましてや原料もすべて無  
添加という商品などは見ることは少ないと  
思います。いえ、ほとんどないでしょう。

**ま** た、全くの自然のものであっても、木  
を糊で固めた集成材であっても、海外から  
入ってきて薬品づけになっていても、表面  
に何か塗ってあっても、防腐剤や糊が使用  
されている珪藻土も、自然素材がひとつで  
も入っているならば、その商品は全て自然素材  
という枠の中にくくられてしまいます。家  
においては「自然素材」≠「無添加」とい  
うイメージも強いです。どちらにし  
ても定義は曖昧なのです。

**そ** れでも出来る限り自然に近い無添加と  
いえる家を建てたとして、安全で健康であ  
るといえるのでしょうか。花粉症やアト  
ピーなど、何かしらのアレルギーを持つ人  
は、全ての原料・成分が無添加であれば  
安全なのでしょう？  
**ま** た、私たちが日々住まう家考えた  
きはどうでしょうか。やはりすべて無添加  
とは言えません。住宅の内部を可能な限り  
木や漆喰などの自然な材料で作ったとして  
も、お風呂、キッチン、トイレ、サッシ、  
換気扇、照明などの設備機器は化学建材に  
なるでしょうし、木の表面は何か塗ってい  
るのではないかと、また塗っている場合、そ  
の塗料は安全なのか、使用されている接着  
剤・防腐剤は大丈夫なのか。さらに木  
の原産国はどこなのか？ 素材は天然その  
ままなのか？ 内壁の材料は？ などなどた  
くさんの疑問が生まれてくるでしょう。

**生** 活をしていく上で必要なもの、家具・  
家電・衣類などの生活必需品なくては、  
ほとんどの方が不便と思われることでは  
しょう。では、家具・家電・衣類などの生活必  
需品から化学物質のガスが放出しているこ  
とはご存知でしょうか？ それら無添加  
の家に入れてしまうとどうなるか…。もう  
答えはお分かりですね！ そうです、無添  
加の家は放散されたガスを吸収してしま  
い、今までも同じ不健康な家になってしま  
うのです。

**ま** た、私たちが日々住まう家考えた  
きは、食べ物や水、日用品だけでなく、家  
づくりにおいても家族や自分の体のために  
健康を考えている方が多くなっています。

**ピ** ニールクロスが主流だった壁も、和紙  
や漆喰・珪藻土などの呼吸する素材が増  
え、合板使用の新材材から天然無垢材の床  
が増え、化学建材から発生するガスをなく  
そうと無添加で健康的な素材が選ばれるよ  
うになりました。しかし、本当の健康住宅  
かどうかの判断も難しいし、無添加なだけ  
では健康な家とは言い切れないのです。

**私** たちが理想とする  
「きれいな空気」とは、  
自然の力が生み出す空気です。  
森の緑の中や海を見晴らす砂浜で、私たち  
は「空気が気持ちいいなあ」と感じます。  
それは、日頃はつい忘れてしまっている  
「人も自然の一部」ということを思い出す  
から、なのだろうと思います。



## 幻の漆喰<sup>®</sup>



### 天然の空気清浄器

有明海の赤貝や銀杏草（海藻）などを使った完全天然素材の壁材。光と熱に反応する独自の光熱触媒作用を持ち、半永久的に室内の化学物質や有害物質を吸着・分解して住空間の空気を清浄に保ちます。ホコリも減ってお掃除もラクに。

## 幻の漆喰<sup>®</sup> ピュアケアウォール<sup>®</sup>

幻の漆喰を塗りやすくモダンに  
鉱物を原料とした天然素材を使用し、  
光熱触媒の技術で生成。原型となる  
幻の漆喰と同じく、化学物質の分解力  
に優れ、さらに今後の左官職人不足に  
も対応できるよう、塗りやすく仕上げ  
ています。



## 幻の漆喰<sup>®</sup> そとかべ

### 光熱触媒作用で 「経年美家」を実現

外壁専用の幻の漆喰「そとかべ」は、  
光熱触媒技術を利用して汚れやすい  
外壁材をクリーンに保ちます。耐水・  
耐熱・耐変色・耐緑色化および耐カビ  
試験により、強靭さや耐久性を証明。  
時と共に味わいを増す「経年美家」の  
住まいを実現します。



## 音響熟成<sup>®</sup>木材



### 免疫力をアップする木「財」

南九州産の杉を、クラシック音楽を聴かせながらじっくりと常温で音響  
熟成したこだわりの木材です。木が本来持っている油分やエキスが残り、  
防菌・防カビなどの作用に加え、人間の免疫力をアップする働きがあ  
るとされています。

## 音響熟成<sup>®</sup>木材 うづくりの床

### 素足にやさしく心地いい床材

「うづくり」とは、木の年輪を浮き上が  
らせる加工法。自然な凹凸が足裏を  
心地良く刺激して血行を良くし、冷え  
症の方もご安心頂け、こどもたちの扁  
平足予防にも効果的です。また、凹凸  
が室内の光を拡散して目に優しく、眼  
精疲労を和らげます。



## 竹炭入り清活畳<sup>®</sup>

### さわやかで清々しい 健康的な空間に

6畳2間でドラム缶1本分の竹炭が  
入った「清活畳（せいかつだたみ）」。  
竹炭は化学物質を吸着する能力が備  
長炭よりも優れるとされています。い草  
の爽やかな香り・肌ざわりが、すがすが  
しい空間をつくれます。



### WEBサイトが新しくなりました

自然を楽しみながら暮らしたい方、自然素材から  
生まれる住むほどに愛着がわく心地いい家づくり  
をお考えの方、花粉症やアレルギー、シックハウ  
スなどでお悩みの方、ぜひご覧ください。

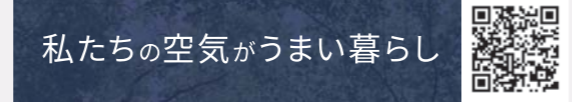
アクセスはこちらから  
<https://www.e-kaiken.com>



### 自然を楽しむ暮らしの知恵をみんなでシェア



### それぞれみなさまの暮らしをご紹介します



# SAiN 読者アンケート ぜひアンケートにお答えいただき、プレゼントご応募ください!

ご愛読いただきありがとうございます。これからも読者の皆様にますます喜んでいただける情報誌『SAiN』にしていくために、どうぞアンケートにご協力をお願いいたします。お名前・生年月日・性別・ご住所・TEL・職業・『SAiN』裏表紙に記載されている「正規取扱店名」をご記入の上、アンケートにお答えいただき、下記宛先までご応募ください。下のアンケート専用ハガキ・WEBでもご応募できます。

**Q1 『SAiN』を知ったきっかけは?**  
①セミナー ②見学会・展示会 ③DM ④友人・知人からの紹介 ⑤その他

**Q2 「健康住宅」のイメージは?**

**Q3 いちばん印象に残った記事は? (番号をご記入ください)**  
①表紙 ②P1. はじめのSAiN ③P2. 目次 ④P3-4. [特集]OPEN HEART 心ひらける暮らし 沖縄篇 ⑤P5-6・7・8. 全国体感録(宮崎県 N棟邸) ⑥P9-10. 施主 渋谷浩一郎様エッセイ ⑦P11-12・13. おもやの食卓 ⑧P14. SAiNエッセイ ⑨P15. 「無添加」というだけでは「健康住宅」と言えない? ⑩P16. KAIKENブランド ⑪P17. こだわりプレゼント ⑫P17. 編集ほのぼの後記 ⑬裏表紙 ⑭その他( )

**Q4 役に立つと思われる記事はどれですか? (「Q3」の番号よりお選びください)**

**Q5 今後取り上げてほしいテーマ** **Q6 『SAiN』へのご意見・ご感想**

**Q7 ご希望のプレゼント番号とプレゼント名(第1・第2希望まで)**

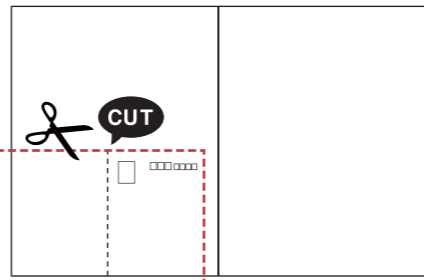
●ハガキ応募先 〒814-0171 福岡市早良区野芥2-27-5  
カイケンコーポレーション(株)『SAiN』春号vol.76 プレゼント係  
●WEB応募先アドレス \*スマートフォンは右のバーコードから  
[https://fkfb.f.msgs.jp/webapp/form/21221\\_fkfb\\_2/index.do](https://fkfb.f.msgs.jp/webapp/form/21221_fkfb_2/index.do)  
※ご当選者の皆様の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

ご応募締切  
2023年  
5月21日  
当日消印  
有効

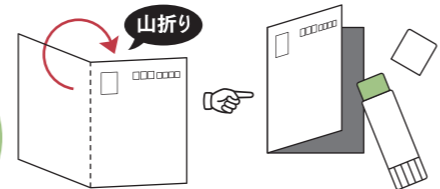


## アンケート専用ハガキの使い方

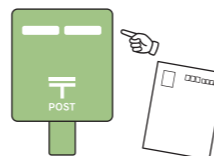
**1** ハガキにご記入いただいた後、切り取り線に合わせて、ハガキを切り取ります。



**2** 切り取ったハガキを山折りにし、中面にのりをつけ、貼り合わせます。



**3** 記入漏れがないか確認いただき、郵便ポストへ投函ください。



## こだわりプレゼント

※ご応募締切 2023年5月21日(日)



※写真のデザインになります

**1** 音響熟成木材手づくりテーブルセット

音響熟成木材手づくり家具の中でも人気が高い、テーブルと椅子のセット。使い込むほど木肌がなめらかになり、美しいツヤも出て、時とともに愛着が増していきます。写真のデザインで、寸法調整につきましてはご対応させていただきます。

※当選者様決定後の製作となります

**2** 音響熟成木材とコハルライトのコラボライト

特製和紙シートを組み立てると、桜の花びらが立体的にうきあがる素敵なインテリア照明器具「コハルライト」。さくら色と電球色に切替でき、2つの違う雰囲気を楽しめます。このコハルライトと音響熟成木材の手づくりスタンドをセットにした特別コラボアイテムです。



2名様



3名様

**3** オーガニックワイン リースリング ベーレンアウスレーゼ 白

特別な年にだけ作られる、オーストリア・クレムスタールのデザートワイン。淡くゴールドを帯びて輝くイエローの色。華やかで甘い気品が漂う、熟してとろけそうな果実の香り。そして、幸福な余韻を長く残す、上品で繊細な甘口の味わいがお楽しみいただけます。

**4** ヴィーガンクッキー リーバリー

ヘルシーで体に負担をかけないお菓子が評判の福岡のヴィーガン・スイーツカフェ「リーバリー」。白砂糖、卵、乳製品などを使わず、メープルシロップやオーガニック食材などのビュアでクリーンな素材を使った、奥深い味わいのクッキー詰め合わせです。



6名様

ご当選者の皆様の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

キリトリ

(フリガナ)	生年月日	年	月	日
お名前	性別 ( 男性 ・ 女性 )			
ご住所 〒				
お電話				
Eメール	メールマガジン配信 <input type="checkbox"/> 希望 <input type="checkbox"/> 希望しない			
ご職業	会社員・公務員・自営業・学生・主婦・その他			
『SAiN』を知ったきっかけは? (番号を○でお囲みください)				
① セミナー ② 見学会・展示会 ③ DM ④ 友人・知人からの紹介 ⑤ その他( )				
「健康住宅」のイメージは?				
いちばん印象に残った記事は? (番号を○でお囲みください)				
①表紙 ②P1. はじめのSAiN ③P2. 目次 ④P3-4. [特集]OPEN HEART 心ひらける暮らし 沖縄篇 ⑤P5-6・7・8. 全国体感録(宮崎県 N棟邸) ⑥P9-10. 施主 渋谷浩一郎様エッセイ ⑦P11-12・13. おもやの食卓 ⑧P14. SAiNエッセイ ⑨P15. 「無添加」というだけでは「健康住宅」と言えない? ⑩P16. KAIKENブランド ⑪P17. こだわりプレゼント ⑫P17. 編集ほのぼの後記 ⑬裏表紙 ⑭その他( )				
役立つと思われる記事は? 上の質問の回答番号よりお選びください <				
今後取り上げてほしいテーマ				
『SAiN』へのご意見・ご感想				
ご希望プレゼント番号と 第1希望				
プレゼント名をご記入ください 第2希望				

※アンケートにご協力ありがとうございました。ご当選者様の発表は発送をもって代えさせていただきます。

料金受取人払郵便

城南局 承認

309

差出有効期間 令和4年4月1日から令和6年3月31日まで <切手不要>

福岡市早良区野芥2-27-5  
カイケンコーポレーション(株)

郵便はがき

814-0190

『SAiN』春号vol.76 プレゼント係

ご愛読頂きましてありがとうございます。アンケートにご記入いただきましてご応募ください。

この『SAiN』の裏表紙に記載されている正規取扱店名を下記にご記入ください

※お預かりした個人情報は、カイケンコーポレーション(株)と正規取扱工務店からのイベントや見学会のご案内、本やプレゼント発送、アンケート集計以外には利用いたしません。尚、お客様の個人情報は厳重に管理し、第三者に譲渡することはありません。

## 編集ほのぼの後記

2023年最初のSAiNです。小さいことでもいいので、積極的なアクションや実績を積み上げること。それが今年の一歩の目標です。一つ一つのご縁を大切に、思いついたアイデアは即実行しながら、楽しいコンテンツをたくさん増やしていきたいと、とにかくやりたいことが多くて、逸る気持ちを抑えながら、今からとてもワクワクしています。

## チロクロ日記

ついこの間のことですが、チロルくんが体調を崩してしまいました。大事には至らなかったのですが、病院に連れていき、色々と検査を受けている間は焦りと心配で何とも言えない感情になりました。お薬で治療しながら2週間程度自宅で療養し、今ではすっかり元の元気を取り戻しています。



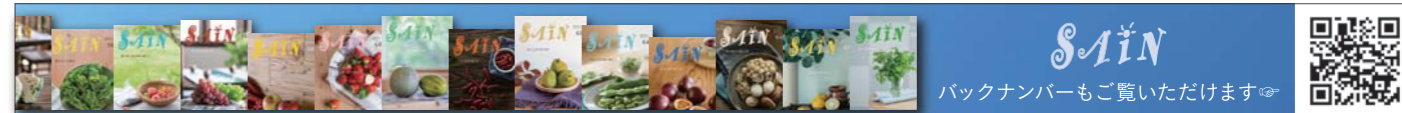
いつもワチャワチャはしゃいでいるときは気付きにくいことではありますが、やはり病気をすると、元気がいっばいで過ぎてくれた方が安心するなあとつくづく思いました。それではまた次回のSAiNにて! ご拝読ありがとうございました!

SAiN編集部 浦上日章

キリトリ

KAIKEN corporation

お問い合わせはフリーダイヤルでお気軽に (9:00~17:00 ※土日祝/休) カイケンコーポレーション株式会社  
●本社/〒814-0171 福岡市早良区野芥2-27-5 ●電話/092(874)6110 ●FAX/092(874)6113  
●最新情報はWEBサイトでどうぞ <https://www.e-kaiken.com> カイケンコーポレーション



●「空気がうまい家」「音響熟成木材」「幻の漆喰」「幻の漆喰ビュアケアウォール」「清活量」はカイケンコーポレーション株式会社の登録商標です。●商標登録「空気がうまい家」登録第5700454号取得/「音響熟成木材」登録第4739348号取得/「幻の漆喰」登録第4739347号取得/「幻の漆喰ビュアケアウォール」登録第5672190号取得/「清活量」登録第4827042号取得 ●「空気がうまい家」「音響熟成木材」「幻の漆喰」「幻の漆喰ビュアケアウォール」「清活量」は正規取扱店でのみお取り扱いしています。類似品にご注意ください。お取扱工務店等はWEBサイトでお確かめいただけます。



時を超える価値のある暮らし  
The Timeless Life

SAIN 2023 SPRING ISSUE vol.76  
© KAIKEN Co. All Rights Reserved.

発行●カイケンコーポレーション株式会社 千八四〇一七二福岡市早良区野芥二の二七の五 電話〇九二(八七四)六一一〇  
【季刊】年4回3月6月9月12月発行 ※無断転載・複製を禁じます



Safety & Healthy  
空気がうまい家®

お問い合わせは●カイケンコーポレーション健康自然建材 正規取扱店